

あふれる田舎の底チカラ
Chu-San-Kan
中山間フェア
in い〜なん

2014.11.9 日 10:00 - 15:00

ところ：島根県中山間地域研究センター
主催：島根県中山間地域研究センター 共催：飯南町

お問合せ 島根県中山間地域研究センター
島根県飯石郡飯南町上来島 1207 TEL0854-76-2025

マイ箸・マイお箸
エコバッグ持参に
ご協力下さい

ステージ

10:10~
飯南高校吹奏楽部 演奏

11:00~
かわいいゆるきゃらたち大集合

大会議室

きのこがいっぱい
in CHU-SAN-KAN

10:30~
基調講演「きのこの種類
とおいしい食べ方」
ハシの日 和田祐子氏

11:10~
こだわりの産地紹介
(1) 菌床きのこ...飯石森林組合
(2) 原木シイタケ...
奥出雲原木シイタケ生産組合

11:40~
野生きのこのお話
中山間地域研究センター
富川専門研究員

11:50~
きのこを使った試食会



いろいろ体験

- 地域づくりの情報が
いっぱいHP!
しまね郷づくり
応援サイトの紹介
イノシシ用
簡易箱罠の展示
- 乳牛の搾乳
模擬体験
干し草ロールに
お絵かき
- ミクロの世界を
のぞいてみよう!
木工体験教室
端材もってけコーナー
- うまいもの
コーナー
構内ぐるっと
スタンプラリー
展示コーナー

※フェアの詳細はホームページにて掲載



編集者のつぶやき...
朝晩はすっかり涼しくなり秋ですね。気温の変化と共にこの季節を感じさせてくれるのはどこからともなく漂うキンモクセイの甘い香りではないでしょうか。そんなキンモクセイですが、賞味期限?は意外と短く、一斉に香りだし、一週間程度で一斉に香りが消えていくという特徴があるとか。しかし、春のサクラと同様、わずかな間だからこそ、美しさ、香りで秋への移ろいを感じられるのではないかと思います。(M.S)

Chu-San-Kan press

研究の森から中山間地域を応援します

2014
Autumn
Vol.14

特集1 島根県内で生産されているきのこ

【資源環境科】



特集2 注目される新しい山づくり ~コンテナ苗~

【森林保護育成科】



次号 特集予告
特集1 「(木材利用科) アカマツ丸太の水中貯木」
特集2 「(地域研究スタッフ) やってみよう定住後の家計設計」

made in shimane !!

「島根県産」がいっぱい

ご存じでしたか？ 県内で、いろいろなきのこが生産されています。県内生産量が一番多いのは「シイタケ」です（都道府県別の生産量は全国9位）。次いで県内生産量が多いのは「エリンギ（全国10位）」、「マイタケ（全国14位）」で、お馴染みの「ナメコ」、「ブナシメジ」も生産されており、これらは毎日お店にならんでいます。（表紙にも島根県産きのこを紹介しています）

秋ですね～

「地元産」が手に入る

全国的に生産量が少ない「ヒラタケ（全国8位）」、「キクラゲ」もあります。県内の森林土壌、樹木、地下水は有害物質が比較的少なく、地元産は安心して食べることができます。



キクラゲ（種名：アラゲキクラゲ）

新しいきのこ

山で見つけた美味しいきのこを紹介します。写真は野生の「エノキタケ」で、本来はこのように黄色く、傘が大きく開きます。現在、中山間地域研究センターで“黄色いエノキ”の栽培化を検討しています。



エノキタケ

島根県内で生産されているきのこ

「これは？」

白くて、キクラゲのような形に見えるのは「ハナビラタケ」です。コリコリした食感が特徴で、サッと湯がいて、サラダや和え物がお勧めです。



ハナビラタケ【飯南町】

地域限定

オレンジ色で、細い形、これもきのこです。なんと！ 昆虫から生えています。秦の始皇帝が不老長寿の妙薬として、また楊貴妃が美容のため探し求めた「冬虫夏草」です。



冬虫夏草（種名：サナギタケ）【津和野町】

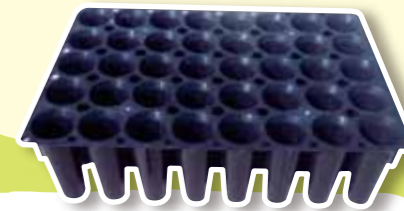
地域限定

注目される新しい山づくり ～コンテナ苗～



コンテナ苗 (写真1)

コンテナ容器 (JAF150) (写真2)



○コンテナ苗とは？

正式名称はマルチキャビティコンテナ苗(写真1)といい、専用容器(写真2)で育成された苗木のことをいいます。コンテナ苗は土が付いた根鉢に形成され(写真3)、これにより活着率が高くなり、従来の裸苗(写真4)より植栽時期が広がります。また、効率よく植栽できるため、従来の裸苗に比べて低コストで造林できると期待されています。いまコンテナ苗は全国的に注目され、島根県でもスギ、ヒノキ、マツの育苗技術の開発や植栽後の生育について試験研究を行っています。



コンテナ苗の根 (写真3)



裸苗のようす (写真4)

○育苗

1年目

コンテナは空中に浮かせて設置します(写真5)。こうすると根が空気に触れるためコンテナからはみ出さず、同じ大きさ・形の根をつくることができます。



コンテナ育苗苗のようす (写真5)



コンテナでの育苗(発芽後) (写真6)

2年目

2年目の秋には山へ植栽できる大きさになるように管理します。島根県ではスギ、ヒノキは苗高30cm以上、マツは苗高20cm以上のコンテナ苗が山に植栽できる大きさとしています(H26年度)。

○植栽

コンテナ苗は専用の器具を使って植栽します(写真7)。器具であけた穴に根鉢がはみ出ないように入れ、足で軽く踏んでやります。器具の先と根鉢の大きさは同じなので簡単に植栽することができます(写真8)。



植栽器具を使った植栽のようす (写真8)



コンテナ苗植栽器具 (写真7)

育苗方法

大きく分けて以下の3種類があります。

- ①播種 種をコンテナに直接まいて、出荷まで育てます(写真6)。
- ②挿木 当年枝(今年伸びた若い枝)を切って、コンテナに挿し付けます。
- ③移植 苗畑で播種・育苗した幼苗を掘りあげて、コンテナに植え替えます。

～きのこの種類、生産量、技術レベルの高さから考えて、島根はきのこの主要生産県です～
*11月の中山間フェアで「きのこがいっぱい in CHU-SAN-KAN」を開催します(p4で紹介)。皆さまのご参加をお待ちしております。

○これから

島根県の一部の事業者でコンテナ苗生産の取り組みが始まりました。島根県中山間地域研究センターではコンテナ苗の育苗技術と効率的な植栽技術について調査・研究を行い、コンテナ苗の普及に向けて取り組んでいます。